

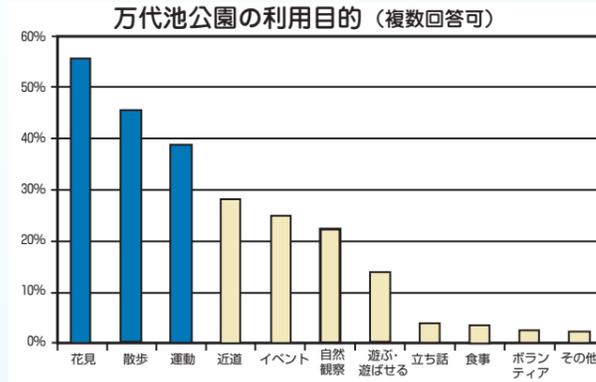
# 万代池公園の今日と明日

## —アンケート調査から—



### アンケート調査

環境科学研究所では、住吉区にある万代池公園の利用実態などを調査するために、公園よりおよそ1,000mまでの範囲に居住されている住民の方を対象にアンケートを実施しました。この範囲の世帯数は約10,000世帯で、回答率は約35%でした。

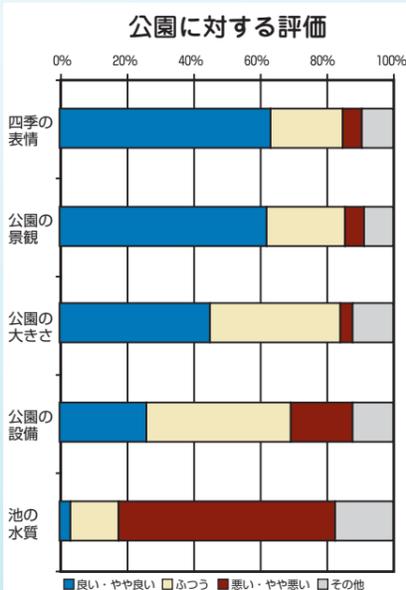


### 公園の利用

「花見」を挙げる人の割合が最も多く、全体の55%を占め、以下「散歩」(46%)、「運動」(38%)と続き、これら3つが公園の主要な利用目的でした。万代池公園は、日頃から我が家の庭のように親しまれているようです。



### 現在の万代池公園



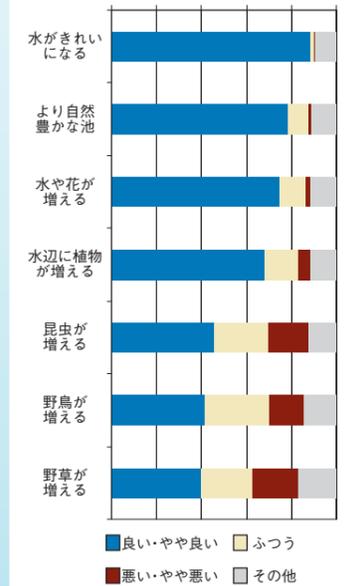
「四季の表情」や「公園の景観」に対しては60%以上が良い、あるいはやや良いと回答し、池のある風景や、公園の景観が良好であることが裏付けられました。しかしながら、万代池の水質に対しては低い評価にとどまり、65%が悪い・やや悪いと回答しました。かつて、万代池では夏になると池の表面が大量のアオコで覆われていました。環境科学研究所は平成10年から継続的な水質調査を行い、高濃度のリンや窒素がアオコ発生の原因であることが判りました。小規模ながら曝気や水流発生装置などの対策を施したこともあり、以前に比べると水質は徐々に改善されているのですが、更なる水質改善策の検討に努めています。

### これからの万代池公園

万代池については、「水がきれいになる」ことを良いとする意見が89%と圧倒的に高く、同時に、「より自然豊かな池」になることや「水辺に植物が増える」ことに対しても良いとする意見も多いことがわかりました。

公園全般については、「木や花が増える」ことを良いとする意見は75%と高いですが、「昆虫」や「野鳥」、「野草」が増えることについて良い・やや良いとする意見は40%余りとどまりました。昆虫=害虫、野鳥=フン害、野草=雑草などのマイナスイメージがあるようです。生物の豊かさより、管理された緑地を求める傾向が強いと言えるでしょう。

### こう変わったらどう思うか?



### おわりに



自然が少ないと考えられがちな大阪の公園にも、実は様々な生き物が暮らしています。ふだん何気なく目にしている草や木、野鳥や昆虫にも、様々な種類があり、色々な不思議がかけています。

身近な環境に生息する生き物を再発見し、ふれ合うことは、都市の自然を見直すきっかけになります。その機会として、万代池公園で「生き物観察会」を開催します。

皆様ふるってご参加ください。

### 生き物観察会のお知らせ

万代池公園の生き物を網や素手で採取して観察します。小学生(とその保護者)を対象とします。

**日時** 7月29日(木)10時~12時

**集合場所** 万代池公園の藤棚前

参加希望者は電話、FAX、または電子メールでお申し込みください。(参加費無料)

締め切り: 7月27日(火) 定員: 先着20名程度

電話: 6771-3327(平日9~17時) FAX: 6772-0676 電子メール: fa0111@city.osaka.lg.jp

※名前、年齢、性別、住所、連絡先をお知らせください。(個人情報は観察会に関する連絡のみに使用し、他の目的では使用いたしません。)

(都市環境担当 大島 詔)